

中華圏の貿易実務		前田 知		
-----------------	--	-------------	--	--

配当年次	2 年次	配当学期	2 学期	科目区分	エグゼクティブ
単位数	2 単位	必修・選択	選 択	授業形態	講 義

授業で得られる「学位授与方針における能力（学生が修了時に身に付ける能力）」、到達目標
/ Competence Defined in “Diploma Policy” (Competence Students Attain by Course Completion), Specific Targets in Focus

学位授与方針における能力		到達目標
知識・理解	理論知識	
	実践知識	○ 中華圏との貿易に関連する専門的知識を習得する。
技能	分析解決技能	
	実務技能	◎ 中華圏との適切な貿易実務に携わることができる力を身につける。
	新規事業技能	
態度	倫理観態度	
	企業変革態度	
	地域リーダー態度	
	国際協調態度	○ 文化圏の違いを理解し、相互理解の上に貿易を推進していく態度を身につける。

※ ◎: 強く関連 ○: 関連 △: やや関連

中華圏の貿易実務

授業の概要

貿易実務とは貿易取引を円滑に進めるために必要な手続きであり、国際ルールや商慣習に基づいて形成されている。国により言語、商慣習、経済事情が異なるため、業務としての貿易実務を習得するだけにとどまらず、相手国の事情や制度を理解しリスク回避の術を身につけながら貿易取引を行うことが求められる。本講義では、適切な貿易実務を習得することを念頭におき貿易に関する実践的な専門知識を学ぶ。後半では中国と貿易を行う貿易会社のケースを取り上げ、その事業展開の経緯と戦略を紹介するとともに、日本とは異なるビジネス慣習を持つ中国とのビジネス事例について紹介する。これによって中華圏における貿易実務について幅広い知識を得るとともに、中華圏貿易で生じる様々な問題に対応する力を身につけることを目指す。

教科書

プリントを配布する

参考書

片山立志著『貿易実務の本』成美堂出版 2013年 1,400円
塩崎利佐治著『中国貿易輸入実務入門』文芸社 2008年 4,000円

授業計画・内容

- ①イントロダクション
【貿易のしくみ】【国内取引と貿易取引の違い】
- ②国際取引の枠組と輸入貿易の法的規制
【貿易管理制度と貿易関係諸法規について】
- ③契約の成立・締結
【売買契約書】【取引交渉と取引条件】
- ④貿易取引の条件設定と価格算定
【2010年版インコタームズ】【貿易に係るコストの種類】
- ⑤税関の役割と機能
【納税と関所】【事前教示】【AEO制度】
- ⑥貿易代金の決済と外国為替
【信用状(L/C)】【D/P手形、D/A手形】【T/T送金】
- ⑦貨物の輸送と貿易実務
【国際複合輸送】【LCL貨物とFCL貨物】
- ⑧貨物の荷受け実務(1)
【SEA NACCSによる輸入手続き】【船荷証券と輸入申告書類】
- ⑨貨物の荷受け実務(2)
【輸出入関税】【評価申告書】
- ⑩EPA・FTAの活用
【原産地規則】【原産地証明】
- ⑪貿易形態の多様化
【人民元決済】【加工貿易】【仲介貿易】

- ⑫ケース 日中貿易会社の事例（1）
【日中貿易に向けた戦略と構造】
- ⑬ケース 日中貿易会社の事例（2）
【契約締結から輸入許可まで】
- ⑭コンテナヤード、大型X線検査場の視察
- ⑮まとめ

成績評価の方法 期末試験…20%、日常の授業への取り組み…60%、小テスト…20%

事前・事後学習の内容 授業後には、授業の復習をしてください。

履修上の注意

担当者からのメッセージ

キーワード WTO インコタームズ 通関手続き 原産地規則 AEO 制度